

被災市町村情報

福島県浪江町

1 市町村の状況等

項目	内容
概要	<p>浪江町は福島県の最東端に位置しており、東は太平洋、西は阿武隈山系の稜線まで延びています。面積は 223.14 km²です。震災前、人口は 21,500 人、主な産業はサービス業、農業、水産業でした。平成 29 年 3 月に一部避難指示解除がなされ、住民の帰還が始まったものの、いまだに帰還困難区域を抱えています。そのような状況下、全国に避難している町民の方の支援をしつつ、新たなまちづくりに取り組んでいます。</p>
復興状況	<p>震災と原発事故から 13 年が経過してもなお、町内の居住人口は 2,250 人（うち 6 割程度が震災前の町民）が帰還しているに過ぎず、人口確保が大きな課題です。</p> <p>生業の再生、働く場所の確保のために、農業にあっては、震災前にはなかった大規模カントリーエレベーターや育苗センターを整備、日本有数の飼養頭数を誇る大規模牧場の整備に着手しており、そこから得られる優良な堆肥を活用した資源循環型農業を目指しています。</p> <p>産業分野にあっては、新たに大規模産業団地を複数造成、またゼロカーボンを宣言し、世界最大規模の水素製造能力を有する福島水素エネルギー研究フィールド（通称：FH2R）を核に脱炭素に向けた様々な取り組みを展開しています。</p> <p>世界的な建築家である隈研吾氏が手掛ける浪江駅前グランドデザインに基づいた中心市街地の再整備、加えて、近傍では国家プロジェクトである福島国際研究教育機構（通称：F-REI）による大規模の研究施設を整備予定で、町として、浪江国際研究学園都市構想をまとめ、諸外国の研究者やその家族とも共存する視点でのまちづくりへもチャレンジしています。</p>
ホームページアドレス	http://www.town.namie.fukushima.jp/
交通	<ul style="list-style-type: none">・JR 常磐線、特急スーパーひたちで、東京駅から約 3 時間 30 分、仙台駅から約 1 時間 10 分・浪江駅から徒歩約 12 分（約 1 km）・常磐自動車道 浪江 IC より役場まで 10 分（約 5 km）
放射線情報	勤務先である浪江町内の本庁舎周辺の空間線量は震災前と同水準です。

2 勤務条件等

項目	内容
勤務時間	8 時 30 分～17 時 15 分（休憩時間 12 時 00 分～13 時 00 分）
休日	土曜日、日曜日、国民の祝日、12 月 29 日～1 月 3 日
時間外勤務	業務の進捗状況により無理のない範囲でお願いする場合があります。
年次有給休暇	暦年に 20 日付与、繰越 20 日限度。 年の途中で派遣された場合は、20 日に前年からの繰越日数を加えて得た日数

	から、浪江町職員に選任された日の前日までに使用した年次休暇の日数を減じた日数となります。	
その他の休暇	特別休暇等のその他の休暇については、浪江町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び規則に定めるものとします。	
宿 舎	町が借り上げた町内の民間住宅をご利用いただきます。入居費や家賃は無料ですが、光熱水費は本人負担となります。	
	備 品	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン完備。
	駐 車 場	あり。1台無料。自家用車を所有されている際は、お持ちいただいたほうが便利です。
	通勤手段	自家用車、公共交通機関、徒歩。
	通勤時間	基本、徒歩1分から車で5分程度。
	立地条件	役場最寄りの物件を中心に民間住宅の確保をしています。

3 インフラ等

項 目	内 容
商 業 施 設	スーパー、コンビニ、道の駅なみえ、飲食店、居酒屋など日常生活雑貨や食品などを取り扱っており、一定の生活への不便はない状態です。
医 療 機 関	町営診療所、民間の歯科医院が1つずつ。
子育てに係る施設	町営認定こども園。
水・電気・ガス	避難指示解除区域内（沿岸部の災害危険区域指定地域を除く）では問題なく使用できます。

4 その他（コメント等）

発災から6年間、町内の居住人口がゼロとなった特異な地域です。13年が経過してもなお、マイナスからのまちづくりの途上にある当町は、日本の社会課題先進地です。

一方、浪江町内はもとより、地域全体に稼働可能年齢の居住者が少なく、やるべきことがあっても手を付けられていない現状にあります。

浪江町の新たな歴史を一緒に作っていただける、やる気のある方を求めています。

5 担当者連絡先

所 属 部 課 名	総務課
電 話 番 号	0240-34-0235
F A X 番 号	0240-34-5352
メ ー ル ア ド レ ス	namie110@town.namie.lg.jp